



保護者会通信

2015年(平成27年)3月25日 No.12

編集・発行
京都ノートルダム女子大学
保護者会事務局
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1
TEL:075-706-3700 FAX:075-706-3707
e-mail: hogoshakai@notredame.ac.jp



会長挨拶

京都ノートルダム女子大学
保護者会会長 宮崎 真里子

早いもので私が三田村前会長から半世紀以上の歴史を誇る保護者会の会長という大役を引き受けて1年となります。

不慣れなものでご迷惑をかけることも多々ありましたが、何とか大過なく終えることができたのも保護者の皆様をはじめ活動を共にした役員の皆様、大学の先生方、事務局の皆様が力強くサポートして下さったお陰と心から感謝しております。この1年は保護者会活動を通じて多くの素晴らしい方々と出会え、大変貴重な経験もさせていただきました。私の一生の財産となりました。改めて心より御礼申し上げます。

100円朝食の試行取組について

時間 8時30分～10時45分
期間 10月16日～11月14日
(土・日・祝除く)

場所 学生食堂
対象 本学学生のみなさん

メニュー
・飯・味噌汁・
・お好み小鉢(2品)
・一日限定50食

しっかりと朝食をとり規則正しい生活リズムを整えることを目的とした「100円



岸田学長は保護者会の活動を高く評価して下さい、ご多忙の中、積極的に活動に参加いただきました。おかげさまで役員一同とてもやりがいを感じて活動を進めることができました。大学の事務局の皆様も色々と尽力くださり、今年度は大学と保護者会の連携がうまく取れ、絆が強くなった1年となりました。以前から切望しておりました保護者会室も作っていただき、活動の拠点ができました。心から厚く感謝申し上げます。

この1年間の活動を振り返りますと、しっかりと朝食を食べて元気に授業を受けていたことが保護者会が差額を負担し学生に100円で

バランスの取れた朝食を提供する100円朝食を10月16日から約1ヶ月間試験的に行いました。子供たちの健康に配慮した保護者会ならではの目線から生まれた取り組みだと思えます。他大学でも次々と導入が進む中、本学では実施に向けて様々な課題を抱えておりましたが、前向きに検討してまいりました。人件費削減のため料金の100円を箱に入れる方式の実施となりましたが、会計に不足は発生せず本学の教育理念である徳育が行き届いていることを再認識いたしました。またバザーの収益金を東日本大震災の被災学生に贈呈した際には、5名の学生

アンケートには、
「朝は時間もなくて食べていなかったで大変助かりました」
「不規則になりがちな生活だったのがありがたい」
「朝から味噌汁で良い一日が過ぎた」
「営業時間をもっと早くしてほしい」
「おかずの品数・量を増やしてほしい」

など多数の意見が寄せられました。保護者会役員会では、本格的な実施に向け、予算化をお認めいただきたいと考えています。



朝食の一例

「北山キャンパス総合整備計画(大学)」の工事進捗状況等について

昨年2月の新ユージニア館完成とともに、11月には待望のソフィア館の耐震全面改修工事が完了しました。前号の保護者会通信でも説明させていただいたとおり、ソフィア館の改修工事に当たっては、建物主要構造部に新たな補修・補強工事が必要となったために工期が2か月延長されましたが、その後の施工業者の努力により1か月遅れの11月末には法人事務局や大学事務局等の管理部門と教員研究室や教室の一部が旧ユージニア館等からの移転を終了することができました。

このソフィア館には地下1階に音楽練習室1～4、美術室兼書道室、地上1階には学生の利便性を最優先したキャリアセンター事務室や大学学生部門事務室と診察室・健康啓発コーナー・休養室などの医務室を、2階には理事長室・法人事務局と、学長室・副学長室・事務局長室・総務部・入試・広報室などの大学管理部門事務諸室を配置し、3階・4階は教員研究室や教室の外、司書・司書教諭課程事務室などを配置しました。これらの移転が終了した後に、ソフィア館の改修工

事に引き続いてユージニア館別館の部分改修工事や本年2月に部分改修工事が終了したテレジア館への教員研究室や教室・実験研究室などの移転を行いました。

また、同時並行でユニソン会館4階の教員研究室の部分改修工事を行い、ユージニア館別館やテレジア館と同様に本年2月に改修工事が完了したところです。

これらのキャンパス整備工事の完了を待って最後の移転を行い、現在、旧ユージニア館の解体工事が行われています。

この解体工事は、残念ながら平成26年度中に終了できず、平成27年度の新学期にずれ込む見込みとなったため、旧ユージニア館別館エレベーター設置工事や新ユージニア館から別館とテレジア館をつなぐ渡り廊下工事と中庭等の外構工事が終了し、北山キャンパス整備計画がすべて終了するのは本年の6月になる予定です。

解体工事後の敷地には、新ユージニア館のル・パサージュや食堂の前面に桜やオリーブ、イトヒバ、カシグルミ、アーモンド、ヒメリンゴなど10数種の植栽による緑豊かな空間を、また、

中庭等の外構工事により、学生たちがND祭や各種の学生イベントに有効に活用できる芝生の中庭スペース広場(仮称)を作る予定です。この中庭スペース広場には、保護者会からいただいた寄付による本学の中庭にマッチした噴水が設置され、既存の枝垂れ桜とともに開放的で落ち着いた学生たちの憩いの場となる予定です。

これにより、平成22年から始まった「北山キャンパス総合整備計画(大学)」は5か年を経て全て完了し、待望の新北山キャンパスは万全の態勢で学生たちの快適な教育環境が整えられることとなります。保護者会の皆様方のご支援に深く感謝申し上げます。

今後も、引き続き、学生の学業振興を一層奨励するため、快適な学習環境を整えていきます。

事務局長 大槻秀明



ソフィア館南面外観

ソフィア館エントランス

北山キャンパス配置図



平成27年度 総会・地区教育懇談会日程

下記の日程で開催予定です。どうぞ今からご予約ください。多くの方々のご出席をお願いいたします。

総会 平成27年6月14日(日)
地区教育懇談会 平成27年10月3日(土) 10月4日(日)

詳細については、事前に郵送にてご案内をお送りします。

ファミリーコンサート開催報告



平成26年9月6日(土) ノートルダムファミリーコンサートが開催されました。ノートルダムの持つ豊かさを音楽とおして世に示したいという願いのもと、中高の同窓会有志によって始められたコンサートも4回目となりました。

このコンサートは、本学院を卒業され、現在活躍されている音楽家のOB・OGと共に、小学校から大学までの在校生、保護者、卒業生、教職員、関係者全てでつくる三年毎に開催されるコンサートです。

第一部は、演奏曲目のテーマを「愛」とし、石上真由子さんによるヴァイオリン演奏、続いて新たなプログラムとして、河村浩太郎・和見氏による能舞をマメール・ロワの調べと共にした演奏があり、来場の皆様からも大いなる関心と評価をいただきました。

第二部は、コンサート全体をご指導いただいている大山平一郎氏指揮によるノートルダム女学院オーケストラクラブ・OGオーケストラの演奏、ノートルダムファミリーオーケストラ・混声合唱団による「ハレルヤ」、最後は「ノートルダム三校校歌メドレー」と「ふるさと」を会場の皆様と共に歌い幕を閉じました。

当日は約1,400名の来場者を得、盛況のうちにコンサートを終えることができました。コンサートの収益は開催1か月前に行われた名列広告の収益と共に(総計1,433,490円)、東日本大震災被災地及びノートルダムネパール校への支援に充てられました。感謝と共にご報告申し上げます。(法人本部事務局)



キャリアカフェの様子



就職・キャリアガイダンスの様子

今年度の就職内定状況
11月末から12月にかけては4年次生にとっては卒業を控えた時期です。キャリアセンターでは、就職・キャリアガイダンスの様子を見つめ、卒業前、卒業後、卒業後の支援を促しています。今年度も多くのセミナーやガイダンス、講座等を実施して参りました。今年2月

今後ともなお一層のキャリアセンターへのご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成26年度
キャリアセンター所長
心理学部 小林多津子

キャリアセンター便り

保護者会の皆様には、平素からキャリアセンターの取り組みに理解と協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、これまでキャリアセンターは学生が卒業後どこで何をやって、どう生きていくのかを考えていく機会をつくり、実社会の変化に適合した将来の方向付けを支援する役割を担っています。そして学生自らの生き方を見つけるために、「なりた自分さがし」を支援し、社会に出て自分

のために乗り越えなければならない卒業論文の作成があり、就職活動をしている状態ではなかったというも現実ですが、1月に入り、卒業論文の口頭試問等も終わり、卒業までに内定を目指すことがキャリアセンターに足る4年次生も増えてきています。

本年1月末時点での4年次生の就職内定率は61.4%で、同時期の昨年度とは約8%上昇しております。しかし売り手市場と言われているにもかかわらず、希望している業種に内定できているかといえ、厳しい状況にあります。キャリアセンターでは多くの情報を提供し、個別相談等にも応じながら、学生の自分の夢を実現させる手立てを一緒に考え、学生が自分にとってのキャリアを見つめ、卒業前、卒業後、卒業後の支援を促しています。今年度も多くのセミナーやガイダンス、講座等を実施して参りました。今年2月

情報もキャリアセンターに入ってきておりますので、内定していない学生には積極的に情報収集に来てもらえるよう指導教員からも声をかけてもらっている状況です。実際の職場での様子を自分の目で確かめ、また企業の方に直接お話を聞くという機会を設けることにより、これからの就職活動に活かせるものと考えられています。

さらには、次年度は学生支援として新たに資格及び免許取得支援講座として公務員試験対策講座、簿記試験対策講座を開催いたします。もちろんこれまでの実施しておりますSPI対策講座や、就職活動の基礎的知識のセミナー、キャリアアップ講座や自己分析講座、企業セミナーなどは継続して実施いたします。

平成12年度から取り組んでおりました文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」が今年3月で終了いたします。この3年間、本学のキャリア教育の体系化や学生に「自己知る」「自己を見つめる」よい機会を提供できたのもこの事業の取り組みからでした。事業が終了しても、学生が自分の生き方を見つめ、これから社会に出るための必要な力を身に付けさせるため大学が一丸となって学生の育成に取り組む決意であります。

また、キャリアセンターは「なりた自分さがし」のサポートをすることができ、今年度も多くのセミナーやガイダンス、講座等を実施して参りました。今年2月

平成26年度 地区教育懇談会報告

平成26年10月4日・5日

平成26年度地区教育懇談会を大学との共催により、京都・松山の2会場で開催いたしました。

◆京都会場(京都ノートルダム女子大学)
日時:平成26年10月4日(土) 13時30分~16時
大槻秀明事務局長の開会の辞にはじまり、芹田健太郎学長、宮崎真里子保護者会会長の挨拶の後、事務局長による「北山キャンパス総合計画に伴うソフィア館改修・その他工事の進捗状況について」のお知らせ、教務課による「成績評価について」の説明がありました。

その後、それぞれの教室にわかれ、各学部・学科の教員および事務担当者が成績・修学・学生生活、就職等の個別相談に応じました。参加者は29家族32名でした。

◆松山会場(ホテルサンルート松山)
日時:平成26年10月5日(日)13時30分~16時
ご出席いただいた保護者の方々との懇談会のあと、教職員が個別相談に応じました。当日の参加者は7名でした。保護者会からは、

永井加奈代副会長、西平圭子監事が、大学からは芹田学長、中村生活福祉文化学部長、河瀬心理学部長、杉原入試・広報室長、小林総務課長(保護者会事務局)が出席しました。

◆アンケートでは、
・「遠く離れた娘のキャンパスライフが身近に感じられました。修学についての説明も詳しくあり良かったです。」
・「娘の入学以来ほとんど大学の行事に出席しておらず、今後の進路に不安を感じていたところ、色々と親身になって相談に応じて頂きありがたかったです。」
・「同じ愛媛の保護者の方ともお知り合いになれて嬉しいです。」
・「学長先生と直接お話をさせて頂き、本当にありがとうございました。」などのご意見を頂戴しました。

平成26年10月26日 保護者会バザー開催



本年度で第9回目となる保護者会主催バザーを新ユニオン館E-304にて盛況のうちに終える事ができました。

多くの皆様のお力添えによる賜物であったと感謝しております。保護者や卒業生の皆様、教職員の方々よりたくさんの寄贈品を賜り、近隣の皆様や本学関係者の方々にはたくさんの買い物をしていただき賑わいのあるバザーになりました。おかげをもちまして多くの収益を上げる事ができました。

ご寄贈を賜りました多くの皆様、お買い上げいただきました多くの皆様様に、心より感謝申し上げます。事前の準備から当日の販売、片付けまでお手伝い頂きました関係者の皆様にも、紙面をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。保護者会バザー実行委員長 永井加奈代(保護者会副会長)

平成26年12月17日 保護者会バザー収益金贈呈式

本年度のND祭バザーの収益金は149,355円になりました。この収益金につきましては、前年同様「京都ノートルダム女子大学東日本大震災被災者特別支援制度」で入学している5名の学生に学習支援金として贈呈しました(バザー収益金を5名に均等に贈呈)。昨年12月17日(水)12時30分より、本学学長室においてバザー収益金の贈呈式を行い、宮崎保護者会会長から5名の学生に手渡されました。

編集後記

第14回 カトリック女子総合スポーツ競技大会

平成26年11月29日・30日



11月28日の授業を終えて、大きな荷物を抱えた選手団はそれぞれお弁当を買って品川駅から恵比寿の宿泊ホテルに到着したのは21時を過ぎていました。

翌日は午前9時からの開会式。聖心女子大学の鈴木副学長からは「各校ともしっかりと自分の学歌を歌えるようになりなさい」とのお言葉がありました。懇親会場には大型液晶テレビが設置され、日中の競技の様子がスナック映像が流された大変な盛り上がりでした。競技中の自分の姿を見る機会はめったにないので、とても良い企画でした。

2日目は雨も上がり、テニスをはじめすべての競技を予定どおり実施することができました。閉会式では成績発表があり、総合優勝・総合準優勝・各種目の優勝校が表彰を受けました。本学の成績は総合第3位と残念な結果となりましたが、試合内容は良かっただけに、敗因

去る、平成26年11月29日、30日に聖心女子大学を会場として第14回カトリック女子大学総合スポーツ競技大会が開催されました。本学からは、硬式テニス部6名、バスケットボール部8名、バドミントン部9名、バレーボール同好会9名の総勢32名の選手団で参加しました。

11月13日の結団式では出場選手全員が自己紹介と決意表明をおこない、芹田学長からは「がんばるぞ」の力強い掛け声がありました。昨年、一昨年と準優勝で悔しい思いをしていたため、参加クラブから規定の参加者数に加えて選手を派遣したいとの申し出があり、活発に練習することを条件として、保護者会課外教育助成費より旅費・宿泊費の補助をいただきました。

月曜日に授業に出席し頑張っている学生の姿を見ると、2日間の経験が学生生活の充実に役立っていることを実感し課外活動の活性化の重要性を再確認いたしました。保護者会のご支援を賜りながら更なる学生支援に努めたいと思います。

式に間に合うよう7時からの朝食でしたが、さすが試合前の選手達は時間厳守で集合し、しっかりと朝食をとりました。いよいよ競技開始となりましたが、雨が降り始めたため屋外種目のテニスは残念ながら試合の途中で翌日に順延となりました。バスケットボール、バドミントン、バレーボールの各会場では大熱戦が繰り広げられ、惜敗したチームは悔し涙を流す場面もありました。夕方からは学生食堂において懇親会が行われ、先程までの熱い戦いから和気藹々とした雰囲気になり、おいしい料理に舌鼓を打ちながら賑やかな歓談となりました。

大学紹介では、恒例の学校紹介と学歌斉唱をしましたが、各校の特徴がよく出ていました。聖心女子大学の鈴木副学長からは「各校ともしっかりと自分の学歌を歌えるようになりなさい」とのお言葉がありました。懇親会場には大型液晶テレビが設置され、日中の競技の様子がスナック映像が流された大変な盛り上がりでした。競技中の自分の姿を見る機会はめったにないので、とても良い企画でした。

2日目は雨も上がり、テニスをはじめすべての競技を予定どおり実施することができました。閉会式では成績発表があり、総合優勝・総合準優勝・各種目の優勝校が表彰を受けました。本学の成績は総合第3位と残念な結果となりましたが、試合内容は良かっただけに、敗因

平成27年に入り、北山キャンパス総合整備計画も本年6月に向けて、いよいよ完了目前となりました。平成22年の整備計画開始から、埋蔵文化財発掘調査や土壌環境対策工事、ソフィア館の主要構

造部補修・補強工事など、5か年の月日の中で様々な課題解決を経て、漸く完了を迎えます。この間の保護者会をはじめとして同窓会、近隣住民の方々、修進会、全教職員等々の多大なご支援と協力があった

て、完了の日を迎えることができます。後わずかなので、安全で安心な整備工事ができるように。(H・O)

